

言語学 研究
Linguistic Research

第14号

1995

言語学 研究
Linguistic Research

第14号

1995

目 次

論 文

現代アラビア語の動詞”完了形”とその複合形の機能の違いについて On functional differences between 'Perfect' and compound 'Perfect' 近藤 智子 (KONDO Tomoko)	1
Coast Tsimshian Plural Formation Fumiko SASAMA	37
ウイグル文字音写された漢語仏典断片について -ウイグル漢字音の研究- Chinese Buddhist Text in Uighur Script 庄垣内 正弘 (Masahiro SHŌGAITO)	65
Abstract grammar and concrete wording in L2 communication David A. Sell	155
チュクチ語西部方言の音韻論 The Phonology of the Western dialect of Chukchee 特古斯 (Tugus)	165
終助詞の機能について -伊勢方言のニの用法の記述と「よ」との比較- Functions of sentence-final particles: 'Ni' in Ise dialect and 'yo' in standard Japanese 服部 匡 (Tadasu HATTORI)	199
Licensing Conditions of the French Reflexive Clitic Takeshi FUJITA (藤田 健)	213
京都大学言語学懇話会 1995年度活動報告	239

編集後記

『言語学研究』14号の編集作業がようやく終わった。今号は7名の方が投稿してくださった。いずれも力作を頂き、投稿してくださった方々に感謝します。しかし、いつもながら編集が遅れてしまい執筆者の方々にご迷惑をおかけしたことは、この場を借りてお詫び申し上げたい。

前号から英文の要旨をつけていただいているが、前号の編集後記でもふれたように、いずれ FTP site を構築し、外部からのアクセスを可能にしたいと考えている。過去の『言語学研究』については要旨がないので、せめて総目次を作りたいが、なかなか仕事ははかどらない。FTP site の構築について以前は夢物語であったが、最近、現実味を帯びてきた。コンピュータ関係の作業には学生の力に負うところが大きい、次号の発刊までにはめどがつくことを願っている。

文責：高橋 (h51137@sakura.kudpc.kyoto-u.ac.jp)

1995年12月24日発行

編集委員：吉田夏也、今井 忍、檜崎勝則、
渡辺 己、高橋慶治

発行者：京都大学言語学研究会
〒606-01 京都市左京区吉田本町
京都大学文学部言語学研究室内

Edited by Natsuya YOSHIDA, Shinobu IMAI,
Katsunori NARAZAKI, Honore WATANABE
and Yoshiharu TAKAHASHI

Pubilished by Kyoto University Linguistics Circle
% Department of Linguistics,
Faculty of Letters, Kyoto University,
Yoshida-Honmachi, Sakyo-ku, Kyoto,
606-01 Japan

印刷所：(株)北斗プリント社
〒606 京都市左京区下鴨高木町38の2
